

# 設置台数日本一！ 「ZENIT名古屋北店」が誕生



上／国際芸術祭の「あいちトリエンナーレ2013」で注目を集めたウルトラ・サン・チャイルド。駐車台数は平面・立体駐車場合わせて約1400台  
右／女性専用レストルーム。レストルームを含め、館内は空調設備で「加温機能」をプラス。POPなどで潤いが保たれていることをお知らせしている  
左／「なかよしシート」と名付けられたペアシート（40台分）も設置



ガラスで仕切られた景品専用ルーム。景品にタバコのニオイがつかない、落ち落いて選ぶことができるなどの利点がある



メイン通路の幅は4.4m、天井の最高は最大で5.8m。天井には小さい穴が無数に開いている吸音ボードを使用。10デシベル程度の抑制を見込んでいる



長短の島を織り交ぜたユニークな配列になっているゾーンもある



R島を多用しているパチスロ島。壁面の上部には細いタテ型のデジタルサイネージが縦横様に並び、円型の大型デジタルサイネージとともに、光でホールを演出する

設置台数2100台。日本最大となる「ZENIT名古屋北店」が4月25日、名古屋北区にグランドオープンした。  
経営するのは、愛知県と岐阜県に23店舗を構える善都（本社、愛知県豊田市、都筑善雄社長）。この10数年の間に、1000台規模のホールを相次いで出店、もしくは1000台規模のホールへ改装していったことから、「善都と言えは巨艦店」というイメージを持つ関係者も多いだろう。1526台の岡崎インター店を筆頭に、1000台超のホールを11店舗抱える同社が、ついに2000台にチャレンジする。

オープン前日の24日、名古屋市の同所でプレス向け内覧会が行われた。

都筑品裕常務は「2000年に初めて1000台規模の木曾川店をオープンして以降、大型



都筑常務

さらに、現代アート作家のヤノベケンジ氏とビートたけし氏のコラボ作品などを展示する「ZENIT ART MUSEUM」も併設。駐車場横には、ヤノベ氏製作による巨大なステンレス製の子供の像（高さ約6m）が屹立。インパクト抜群で、同店のシンボルとして話題を呼びそうだ。では、店内（ワンフロア）に目を転じてみよう。

設置台数はパチンコ1206台、パチスロ894台の計2100台。4円・1円パチンコ、20円・5円スロットの構成で、20円スロット以外は各台計数機を導入。「CRルパン三世」消されたルパン」シリーズ233台が4パチの一面を占めているのが印象的だ。

山内大亮店長は、「遊技機の配置は画一的ではなく、複雑な配列も取り入れています」と説明。

また、女性専用レストルームやフィッティングルームを備えた広い化粧室を設けるなど、女性客を意識した作りとなっているのも特徴的だ。

「主婦層は比較的、朝から打たれる方が多く、日中の稼働に大きく影響しますので、特に配慮した」（都筑常務）という。ガラスで仕切られた「景品専用ルーム」やワインセラーなど、同社系列店で定番になりつつある施設も完備。1000台規模のホールで培ってきたノウハウをすべて盛り込み、そこに使

店を出店してきましたが、（これまで取り組んできたさまざまな施策を含め）今回はその集大成と位置付けています」と、並々ならぬ意欲を示した。

同店の敷地面積は約2万㎡。喫茶チェーンの「コマダ珈琲」（ホール初出店）や外食チェーンの「スガキヤ」、コンビニの「サークルK」、クリーニングの「ホワイト急便」、コインランドリー、託児所、フラワーショップをテナントとして誘致。

これについて、都筑常務は近隣住民に気軽に立ち寄ってもらえると同時に、遊技客とうまくリンクするものを選択したと説明。

「コマダ珈琲」のオープンは7時。ですので、当店が開店するまでの間、お客さまに利用していただくことができます。コインランドリーは、遊技している間に使えるので便利でしょう」

また、メニューの飽きがこないように飲食店を2店舗誘致したいと考えたとき、「さすがに食堂が二つあつてはスペースも取るので、食事も充実している喫茶店の「コマダ珈琲」に白羽の矢を立てたと話した。



山内店長

い勝手のいいテナントやミュージアムなどをプラス。利便性と話題性で集客を上乘せする戦略だ。

4日間の募集で5000人超の会員が集まったとして、「手ごたえはひしひしと感じている」と都筑常務。

とはいえ、約3km圏内には愛知の高稼働店として知られた1228台の「プレイランドキャッスルワンダー店」があり、昨年11月、その近くに1535台の「マルハン小田井駅前店」がオープンしたエリア。そこにまた2100台だから、わずか半年の間に3600台増加したこと。商圏内での引つ張り合いはもとより、その波動は、隣接する商圏を巻き込んだものとなるだろう。

福岡県筑紫野市の「P-ZONE筑紫野店」、埼玉県川口市の「パッツオ鳩ヶ谷店」、北海道札幌市の「メガガイア理小路店」に続く、2000台超の巨艦店の誕生。名古屋北西部の市場に、どのような変化をもたらすのか。「ZENIT名古屋北店」の成否は、大手ホール企業の今後の出店計画に大きな影響を与えそうだ。